

6月30日、午後3時、本庁舎3階会議室にて。課長会議後に行われた、役場内の行革組織「川根本町行政改革推進本部」の今年度3回目の会合です。

この席上杉山町長は、6月23日に行われた第1回行革推進委員会で、委員から苦言や指摘（24ページ〜27ページ）が相次いだことを、各担当課長らに伝えました。

そして、それぞれの課に持ち帰り、真剣な討論を行った上で、具体的な修正案を早急に提出するよう指示を出しました。これを受けて、それぞれの担当課では対応を練り直し、より実効性のある行革プランを打ち出していく予定です。

行政改革は一朝一夕で成しえるものではありません。杉山町長のリーダーシップのもと、全職員が問題意識を持ち、一丸となって取り組んでいかなければ実現できないものです。

2005年、町の合併という大きな大きな改革を断行したその当時の決意が、今ふたたび、川根本町に求められています。

特集の終わりに

今年3月に行革推進委員会から杉山町長に手渡された「大綱・集中改革プランへの提言書」。

ここに述べられている13項目に及ぶ提言は、財政厳しい町の負担を少しでも和らげるため、そして町民の皆さんが豊かな心を持つて日々の生活を送ることができるようにと考え出された提言たちです。

本特集の話を行革推進室から持ちかけられたとき、せっかくだから委員会の生の声を聞いてみたいと思いい、6月23日の「平成20年度第1回行革推進委員会」を取材させていただきました。

そこで私を待っていたのは、各委員からの行政に対する厳しい批判の声でした。前述の通り、各課の対応について「内容が乏しすぎる」、「課によって差がありすぎる」という指摘でした。

行政改革とは、行政に携わる職員一人一人の「意識の改革」こそが一番重要な部分です。そのことを再認識させられた「第1回行革推進委員会」取材でした。今回、あえて役場が目を見たい内容（私も含め）も包み隠さず取り上げたのは、町民の皆さんに役場の現状を知ってもらいたかったから。それと、行政に携わる職員一人一人

参考●川根本町行政改革大綱公表版、同実施計画改訂版（集中改革プラン）、川根本町定員適正化計画、集中改革プランの平成19年度実施状況一覧、川根本町行政改革大綱・集中改革プランへの提言書（川根本町行政改革推進委員会）、行政視察者からの資料代徴収について（通知）、川根本町パブリックコメント制度実施要綱、補助金の適正化についての方針、既存の補助金等の見直し方針、川根本町附属機関等が開催する会議の公開及び会議録の公表に関する要綱、補助団体事務の適性化（通知）、第1次川根本町総合計画及び策定に係る住民アンケート結果、エコアクション21環境経営システム・環境活動レポートガイドライン2004年版、地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針の策定（平成17年3月29日総務省）、かわねほんちょうことしの仕事（総務課）、市町しずおか（静岡県総務部自治行政室）、静岡県庁ホームページほか

取材協力●川根本町行政改革推進委員会、菊川市総務企画部財政課行財政改革係、同市総務企画部企画政策課広報担当、河津町総務課企画財政係、同町総務課広報担当、本庁総務課行財政改革推進室

行革に終着駅はありません
どこまでも続くレールの上を
ただひたすらに走っていただけ
慎重に慎重に
運転を誤らないように
レールを踏み外さないように
この町に暮らす皆さんとともに

行政改革に関する詳しいお問い合わせは、
本庁総務課行財政改革推進室
電話（56）2220—まで。

にも意識改革という考えを投げかけたかったからに他なりません。この委員会では「広報」についても厳しいご指摘を受けました。「委員会だけでこれだけ議論しているのに、ほとんど取り上げられない」、「予算の特集では提言の内容が何も述べられていない」、「ホームページに載っているなんていうのは言い訳に過ぎない」と。

誠にし訳ありませんでした。予算関連の記事は総務課から、行革関連の記事は行革推進室から、その都度提供され紙面に掲載しておりますが、「横のつながり・情報

の共有」という部分が圧倒的に不足していたように思います。これこそ、「行革」の必要性であると痛感しています。

最小の経費と最少の人員で「最大の効果」を上げること。行政改革の原点であり目標です。

平成20年度の削減目標額は約5、126万円。前年度の目標額2、555万円の約2倍の額を計上し行革はさらに熱を帯びていきます。すべては、川根本町が川根本町であり続けるために。これからも行政は、地道な取り組みを積み重ね努力してまいります。「広報の充実」も行革の一つにあげられています。「充実とは何か？」未だ模索中ではありますが、今後皆さんと一緒に、川根本町の行く末を見つめ考え続ける広報でありたいと思っています。

今号特集を企画するにあたり、多くの方々に協力いただきました。ご協力くださった皆さま、叱咤激励をくださった皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。

総力特集 行政改革の今を斬る— 終わり

行政改革の今を斬る